

Gen

Chapter 3

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

יְהוָה עָשָׂה אֲשֶׁר הַשָּׂדֶה חַיַּת מְכֹל עֲרוֹם הָיָה וַתִּנְחַשׁ 1
主なる 造った (の)-ところの 野の 獣より すべての-中で 狡猾で であった さて-蛇は
H3068 H3605 H6175 H1961 H5175

אֱלֹהִים אָמַר כִּי- אִף הָאִשָּׁה אֶל- וַיֹּאמֶר אֱלֹהִים
神が 言った (と)-言ったのか 本当に 女に (に)-対して そして-言った 神が
H0430 H0559 H0637 H0802 H0413 H0559 H0430

הַגֵּן עֵץ מְכֹל תֹּאכְלוּ לֹא
園の 木から すべての 食べて (しては)-ならない
H1588 H6086 H3605 H0398 H3808

さて主なる神が造られた野の生き物のうちで、へびが最も狡猾であった。へびは女に言った、「園にあるどの木からも取って食べるなど、ほんとうに神が言われたのですか」。

נֹאכְלוּ הַגֵּן עֵץ- מִפְּרֵי הַנְּחֹשׁ אֶל- הָאִשָּׁה וַתֹּאמֶר 2
食べてよい 園の 木の 実から 蛇に (に)-対して 女は すると-言った
H0398 H1588 H6086 H6529 H5175 H0413 H0802 H0559

女はへびに言った、「わたしたちは園の木の実を食べることは許されていますが、

תֹּאכְלוּ לֹא אֱלֹהִים אָמַר הַגֵּן בְּתוֹךְ- אֲשֶׁר הָעֵץ וּמִפְּרֵי 3
食べて (しては)-ならない 神は 言われた 園の 真ん中の (の)-ところの 木の 木のみ しかし-実から
H0398 H3808 H0430 H0559 H1588 H8432 H6086 H6529

תָּמוּתוֹן: פֶּן- בּוֹ תִנְעֹוּ וְלֹא מִמֶּנּוּ
死ぬ さもなくば それに 触れて そして-(しては)-ならない それから
H4191 H6435 H5060 H3808

ただ園の中央にある木の実については、これを取って食べるな、これに触れるな、死んではいけないからと、神は言われました」。

תָּמוּתוֹן: מוֹת לֹא- הָאִשָּׁה אֶל- הַנְּחֹשׁ וַיֹּאמֶר 4
ない 死ぬことは 決して-(ない) 女に (に)-対して 蛇は すると-言った
H4191 H4191 H3808 H0802 H0413 H5175 H0559

へびは女に言った、「あなたがたは決して死ぬことはないでしょう。

וַיִּפְקְחוּ מִמֶּנּוּ אֲכָלְכֶם כִּי בַיּוֹם כִּי- אֱלֹהִים יָדַע כִּי- 5
すると-開かれる それから 食べる 日に (と)-いうことを 神は 知っている なぜなら
H6491 H0398 H3117 H0430 H3045

וְרָעָה: טוֹב יָדְעִי כְּאֱלֹהִים וְהָיִיתָ עֵינֶיךָ
悪を 善と 知る-者と 神の-ように そして-なる あなたがたの-目が
H3045 H0430 H1961

それを食べると、あなたがたの目が開け、神のように善悪を知る者となることを、神は知っておられるのです」。

תֹּאמֶר 欲しい-もので H8378	וְכִי そして(と)-それが	לְמַאֲכַל 食べる-ために H3978	הָעֵץ 木は H6086	טוֹב 良いと	כִּי (と)-それが	הָאִשָּׁה 女は H0802	וַתֵּרָא すると-見た H7200
וַתֹּאכַל そして-食べた H0398	מִפְרֵי その-実から H6529	וַתִּקַּח すると-取った H3947	לְהַשְׂכִּיל 賢く-なるために	הָעֵץ 木は H6086	וַנַּחֲמֶד そして-好ましく	לְעֵינַיִם 目に	הִוא それは H1931
			וַיֹּאכַל: すると-食べた H0398	עִמָּה 共に-いた	לְאִישָׁה その-夫に H0376	גַּם また H1571	וַתֵּן そして-与えた H5414

女がその木を見ると、それは食べるに良く、目には美しく、賢くなるには好ましいと思われたから、その実を取って食べ、また共にいた夫にも与えたので、彼も食べた。

הֵם 彼らは H1992	עֲרֻמִּים 裸であると H5903	כִּי (と)-それが	וַיֵּדְעוּ そして-知った H3045	שְׁנֵיהֶם 二人の	עֵינָי 目が	וַתִּפְקַחְנָהּ すると-開かれた
	תְּחִלָּתָ: 腰-覆いを	לָהֶם 自分たちに	וַיַּעֲשֵׂוּ そして-作った	תְּאֵנָה いちじくの	עֲלֶיהָ 葉を	וַיִּתְפָּרְוּ そして-縫い合わせた
				H8384	H5929	H8609

すると、ふたりの目が開け、自分たちの裸であることがわかったので、いちじくの葉をつづり合わせて、腰に巻いた。

הַיּוֹם 日の H3117	לְרוּחַ 涼しい-風の H7307	בְּגֶן 園の中-で H1588	מִתְהַלֵּךְ 歩まれる	אֱלֹהִים 神の H0430	יְהוָה 主なる	קוֹל 声を	אֶת- (を)	וַיִּשְׁמְעוּ すると-聞いた H8085
	הַגֶּן: 園の	עֵץ 木の	בְּתוֹךְ 中に	אֱלֹהִים 神の	יְהוָה 主なる	מִפְּנֵי 御前から	וְאִשְׁתּוֹ そして-その-妻は	הָאָדָם 人は
	H1588	H6086	H8432	H0430	H3068	H6440	H0802	H0120
								H2244

彼らは、日の涼しい風の吹くころ、園の中に主なる神の歩まれる音を聞いた。そこで、人とその妻とは主なる神の顔を避けて、園の木の間に身を隠した。

אֵיכָּה: どこに-いるのか H0335	לּוֹ 彼に	וַיֹּאמֶר そして-言った H0559	הָאָדָם 人に	אֶל- (に)-対して	אֱלֹהִים 神は	יְהוָה 主なる	וַיִּקְרָא すると-呼んだ H7121
			H0120	H0413	H0430	H3068	

主なる神は人に呼びかけて言われた、「あなたはどこにいるのか」。

עֵרֹם 裸で H5903	כִּי- なぜなら	וַיִּרָא そして-恐れました	בְּגֶן 園の中-で H1588	שְׁמִעְתִּי 聞きました	קוֹלְךָ あなたの-声を	אֶת- (を)	וַיֹּאמֶר すると-言った H0559
							וַיִּחְבֵּא: それで-隠れました H2244
							אֲנִי わたしは H0595

彼は答えた、「園の中であなたの歩まれる音を聞き、わたしは裸だったので、恐れて身を隠したのです」。

הַמֶּן (の)-からか	אַתָּה あなたは	עֵרֹם 裸であると H5903	כִּי (と)-それが	לְךָ あなたに	הֲגִיד 告げたのか	מִי 誰が	וַיֹּאמֶר すると-言われた
					H5046	H4310	H0559
	אָכַלְתָּ: 食べたのか H0398	מִמֶּנּוּ それから	אָכַל- 食べて	לְבַלְתִּי (しては)-ならないと	צוּיְתִיד 命じた	אֲשֶׁר (の)-ところの	הָעֵץ 木の H6086
			H0398	H1115	H6680		

神は言われた、「あなたが裸であることを、だれが知らせたのか。食べるなど、命じておいた木から、あなたは取って食べたのか」。

וַיֹּאמֶר וְהָאָדָם הָאִשָּׁה אֲשֶׁר נָתַתָּה לִּי הִנֵּה הֵיאָתָה וְהָאִשָּׁה הָהִיא הִיא עִמִּי וְהָאָדָם הָאִשָּׁה הָהִיא הִיא עִמִּי וְהָאָדָם הָאִשָּׁה הָהִיא הִיא עִמִּי
 12
 与えた 彼女が わたしと-共に 与えてくださった (の)-ところの 女が 人は すると-言った
[H5414](#) [H1931](#) [H5978](#) [H5414](#) [H0802](#) [H0120](#) [H0559](#)

וְהָאִשָּׁה הָהִיא הִיא עִמִּי וְהָאָדָם הָאִשָּׁה הָהִיא הִיא עִמִּי וְהָאָדָם הָאִשָּׁה הָהִיא הִיא עִמִּי
 12
 与えた 彼女が わたしと-共に 与えてくださった (の)-ところの 女が 人は すると-言った
[H5414](#) [H1931](#) [H5978](#) [H5414](#) [H0802](#) [H0120](#) [H0559](#)

人は答えた、「わたしと一緒にして下さったあの女が、木から取ってくれたので、わたしは食べたのです」。

וַיֹּאמֶר וְהָאִשָּׁה הָהִיא הִיא עִמִּי וְהָאָדָם הָאִשָּׁה הָהִיא הִיא עִמִּי וְהָאָדָם הָאִשָּׁה הָהִיא הִיא עִמִּי
 13
 すると-言われた 主なる 神は 何を 女に 神は 主なる すると-言われた
[H0559](#) [H3068](#) [H0430](#) [H0802](#) [H4100](#) [H2063](#) [H0802](#) [H0559](#)

וְהָאִשָּׁה הָהִיא הִיא עִמִּי וְהָאָדָם הָאִשָּׁה הָהִיא הִיא עִמִּי וְהָאָדָם הָאִשָּׁה הָהִיא הִיא עִמִּי
 13
 食べた 食べた 食べた
[H0398](#) [H0398](#) [H0398](#)

そこで主なる神は女に言われた、「あなたは、なんということをしたのです」。女は答えた、「へびがわたしをだましたのです。それでわたしは食べました」。

וַיֹּאמֶר וְהָאִשָּׁה הָהִיא הִיא עִמִּי וְהָאָדָם הָאִשָּׁה הָהִיא הִיא עִמִּי וְהָאָדָם הָאִשָּׁה הָהִיא הִיא עִמִּי
 14
 すると-言われた 主なる 神は 何を 女に 神は 主なる すると-言われた
[H0559](#) [H3068](#) [H0430](#) [H0802](#) [H4100](#) [H2063](#) [H0802](#) [H0559](#)

וְהָאִשָּׁה הָהִיא הִיא עִמִּי וְהָאָדָם הָאִשָּׁה הָהִיא הִיא עִמִּי וְהָאָדָם הָאִשָּׁה הָהִיא הִיא עִמִּי
 14
 食べた 食べた 食べた
[H0398](#) [H0398](#) [H0398](#)

主なる神はへびに言われた、「おまえは、この事を、したので、すべての家畜、野のすべての獣のうち、最ものろわれろ。おまえは腹で、這いあるき、一生、ちりを食べるであろう」。

וַיֹּאמֶר וְהָאִשָּׁה הָהִיא הִיא עִמִּי וְהָאָדָם הָאִשָּׁה הָהִיא הִיא עִמִּי וְהָאָדָם הָאִשָּׁה הָהִיא הִיא עִמִּי
 15
 すると-言われた 主なる 神は 何を 女に 神は 主なる すると-言われた
[H0559](#) [H3068](#) [H0430](#) [H0802](#) [H4100](#) [H2063](#) [H0802](#) [H0559](#)

וְהָאִשָּׁה הָהִיא הִיא עִמִּי וְהָאָדָם הָאִשָּׁה הָהִיא הִיא עִמִּי וְהָאָדָם הָאִשָּׁה הָהִיא הִיא עִמִּי
 15
 食べた 食べた 食べた
[H0398](#) [H0398](#) [H0398](#)

わたしは恨みをおく、おまえと女とのあいだに、おまえのすえと女のすえとの間に。彼はおまえのかしらを砕き、おまえは彼のかかとを砕くであろう」。

וַיֹּאמֶר וְהָאִשָּׁה הָהִיא הִיא עִמִּי וְהָאָדָם הָאִשָּׁה הָהִיא הִיא עִמִּי וְהָאָדָם הָאִשָּׁה הָהִיא הִיא עִמִּי
 16
 すると-言われた 主なる 神は 何を 女に 神は 主なる すると-言われた
[H0559](#) [H3068](#) [H0430](#) [H0802](#) [H4100](#) [H2063](#) [H0802](#) [H0559](#)

וְהָאִשָּׁה הָהִיא הִיא עִמִּי וְהָאָדָם הָאִשָּׁה הָהִיא הִיא עִמִּי וְהָאָדָם הָאִשָּׁה הָהִיא הִיא עִמִּי
 16
 食べた 食べた 食べた
[H0398](#) [H0398](#) [H0398](#)

וְהָאִשָּׁה הָהִיא הִיא עִמִּי וְהָאָדָם הָאִשָּׁה הָהִיא הִיא עִמִּי וְהָאָדָם הָאִשָּׁה הָהִיא הִיא עִמִּי
 16
 食べた 食べた 食べた
[H0398](#) [H0398](#) [H0398](#)

つぎに女に言われた、「わたしはあなたの産みの苦しみを大いに増す。あなたは苦しんで子を産む。それでもなお、あなたは夫を慕い、彼はあなたを治めるであろう」。

17 וְלָאָדָם אָמַר כִּי-שָׁמַעְתָּ לְקוֹל אִשְׁתְּךָ וְתָאכַל מִן-הָעֵץ
 木から (から) そして-食べた お前の-妻の 声に 聞いた なぜなら 言われた そして-アダムに
[H6086](#) [H0398](#) [H0802](#) [H8085](#) [H0559](#) [H0121](#)

אֲשֶׁר צִוִּיתִיךָ לֵאמֹר לֹא תֹאכַל מִמֶּנּוּ אַרְוֶיךָ הָאָדָמָה
 地面は 呪われた それからと 食べて (しては)-ならない 言って 命じた (の)-ところの
[H0127](#) [H0779](#) [H0398](#) [H3808](#) [H0559](#) [H6680](#)

כָּעֲבוּרֶיךָ כְּעֶצְבוֹן הָאֲכִלָּה יָמֵי חַיֶּיךָ
 お前の-せいで 苦しみの-中で 食べる すべて 日々 命の-お前の
[H5668](#) [H6093](#) [H0398](#) [H3605](#) [H3117](#)

更に人に言われた、「あなたが妻の言葉を聞いて、食べるなど、わたしが命じた木から取って食べたので、地はあなたのためののろわれ、あなたは一生、苦しんで地から食物を取る。

18 וְקוֹץ וְדֹרְדֹר תַצְמִיחַ לְךָ וְאָכַלְתָּ אֹת-עֵשֶׂב הַשָּׂדֶה:
 野の 草を (を) そして-食べる お前の-ために 生えさせる そして-あざみを そして-茨と
[H6212](#) [H0853](#) [H0398](#) [H6779](#) [H1863](#) [H6975](#)

地はあなたのために、いばらとあざみとを生じ、あなたは野の草を食べるであろう。

19 מִמֶּנָּה כִּי הָאָדָמָה אָל-שׁוּבָה עַד לֶחֶם תֹּאכַל אֶפְיֶךָ בִּזְעַת
 そこから なぜなら 地面へ (の)-へ お前が-帰る まで パンを 食べる お前の-額の 額の-汗で
[H0127](#) [H0413](#) [H7725](#) [H5704](#) [H3899](#) [H0398](#) [H0639](#) [H2188](#)

לָקַחְתָּ עִפְרָה כִּי-וְאֵל-עָפָר תָּשׁוּב:
 取られた ちりで なぜなら お前は ちりに ちりに 帰る
[H7725](#) [H6083](#) [H0413](#) [H6083](#)

あなたは顔に汗してパンを食べ、ついに土に帰る、あなたは土から取られたのだから。あなたは、ちりだから、ちりに帰る」。

20 וַיִּקְרָא הָאָדָם שֵׁם אִשְׁתּוֹ חַוָּה כִּי הִיא הָיְתָה אִם כָּל-
 そして-名づけた 人は 名を その-妻を エバと なぜなら 彼女は 彼女が 母で すべて
[H3605](#) [H0517](#) [H1961](#) [H1931](#) [H2332](#) [H0802](#) [H8034](#) [H0120](#) [H7121](#)

חַיִּי:
 生きる-者の

さて、人はその妻の名をエバと名づけた。彼女がすべて生きた者の母だからである。

21 וַיַּעַשׂ יְהוָה אֱלֹהִים לָאָדָם עֹר קַתְנֹות וְלִאִשְׁתּוֹ וַיִּלְבָּשֶׁם:
 神は 主なる 神は アダムに その-妻に 皮の 皮の-衣を そして-着せた
[H3847](#) [H5785](#) [H3801](#) [H0802](#) [H0120](#) [H0430](#) [H3068](#)

פ
 [段落]

主なる神は人とその妻とのために皮の着物を造って、彼らに着せられた。

לְדַעַת מִמֶּנּוּ כְּאַחַד הָיָה הָאָדָם הֵן אֱלֹהִים יְהוָה וַיֹּאמֶר
 知る-者と 我々の 一人の-ように なった 人は 見よ 神は 主なる すると-言われた
 H3045 H0259 H1961 H0120 H2005 H0430 H3068 H0559

מֵעֵץ גַּם וְלָקַח יָדוֹ יִשְׁלַח פֶּן- וְעַתָּה וְרָע טוֹב
 木からも また そして-取り その-手を 手を-伸ばし さもなくば そして-今 悪を 善と
 H6086 H1571 H3947 H3027 H7971 H6435 H6258

לְעֹלָם: וְחַי וְאָכַל הַחַיִּים
 永遠に そして-生きる そして-食べ 命の
 H5769 H2425 H0398

主なる神は言われた、「見よ、人はわれわれのひとりようになり、善悪を知るものとなった。彼は手を伸べ、命の木からも取って食べ、永久に生きるかも知れない」。

אֲשֶׁר הָאָדָמָה אֶת- לְעֹבֵד עֵדֶן מִנֶּן- אֱלֹהִים יְהוָה וַיִּשְׁלַחְהוּ
 (の)-ところの 地面を (を) 耕すために エデンの 園から 神は 主なる そこで-送り出した
 H0127 H0853 H5647 H1588 H0430 H3068 H7971

מִשָּׁם: לָקַח
 そこから 取られた
 H8033 H3947

そこで主なる神は彼をエデンの園から追い出して、人が造られたその土を耕させられた。

הַכְּרָבִים אֶת- עֵדֶן לְנֶן- מִקְדָּם וַיִּשְׁכֵּן הָאָדָם אֶת- וַיִּגְרֶשׁ
 ケルビムを (を) エデンの 園の 東に そして-置いた 人を (を) そして-追い出した
 H3742 H0853 H1588 H7931 H0120 H0853 H1644

ס: הַחַיִּים: עֵץ דָּרֶךְ אֶת- לְשָׁמֹר הַמְתַּהַפֶּכֶת הַחֶרֶב לְהַטּ וְאֵת
 [区切] 命の 木の 道を (を) 守るために 回転する 剣を きらめく そして(を)
 H6086 H1870 H0853 H8104 H2015 H2719 H3858 H0853

神は人を追い出し、エデンの園の東に、ケルビムと、回る炎のつるぎとを置いて、命の木の道を守らせられた。